



← 地下水の流れ

- 水道・水循環
- 湧水・川など
- 庭園
- 井戸
- 土・建築物
- 祭り・信仰・風習
- 伝統文化・芸術・民謡伝承
- 食・産業
- 地名
- 人物
- 生態系

- 1 健康水源地**
市水道の4分の1をまかなう最大の水源地。11本の井戸の内、7本が自噴。
- 2 熊本地域の水循環系**
阿蘇がもたらした大地と清正などの治水整備の出合いが、稀有な地下水盆地を形成。
- 3 坪井川源水点「水口」**
地元の人達が坪井川の源流の一つとする湧水地で、河童像が置かれていた。
- 4 小清水の池**
河童にお参りしたお蔭で、濡れて亡くなった子供は一人もいないという湧水の池。
- 5 鐘水**
樹齢600年以上という銀杏の根元から湧き、製鉄に使われた歴史を持つ。
- 6 天水**
明治天皇の熊本巡幸時に献上された水で、「天長水」と呼ばれる。
- 7 上川床の湧水**
芳野屋(よしのおう)というバームクーヘン状の地層の上部から湧水する。
- 8 長命水**
茶の湯に重宝された名水。長寿の水と伝えられる。
- 9 延命水**
地域の人たちが野菜などを洗う、生活との結びつきが強い湧水。
- 10 少年の家跡**
青少年の健全育成のために、市に寄贈された貴族院議員古庄(ふるしょう)健次郎の別荘跡。
- 11 江津湖**
日量約40万m³の湧水量を持つ市最大の湧水地。環境省「日本の重要湿地」。
- 12 瑞巖寺跡**
奇岩と湧水により風光明媚の地とされる市指定の名勝・史跡。
- 13 太郎迫神社の湧水**
境内から清水が湧き出す。今も農業用水などに利用されている。
- 14 五丁の妙見さん**
地域の共同水場として古くから利用されてきた湧水。牧歌的な里の行まいが魅力。
- 15 お手水**
神武天皇の皇孫・健甕命(たけいわたつのみこと)が手水に使ったことに由来する。
- 16 鳴岩の湧水**
高さ10mの「鳴岩」の割れ目からの湧水。「肥後園史」に、岩中に水流の音がするとある。
- 17 前川の井川端**
地域の人が「イガワさん」と親しむ、地域共同の湧水の水場。
- 18 天福寺**
細川家歴代の祈願所として知られ、小萩山南麓の湧水が手水場に溢れる。
- 19 鼓ヶ滝**
金峰山カルデラの深谷にあり、景勝地「肥後那馬深(なまふか)」の見所の一つ。
- 20 雲巖寺**
古来より金峰山の湧水を寺の水とし、剣豪 宮本武蔵も飲んだという。
- 21 平山(北・南)の湧水**
みかん畑の多い平山地区の生活を支えてきた湧水で、北と南とに二つある。
- 22 いんの川**
覗き込むと砂を踊らせて湧水する様子が見える。今も住民に利用されている。
- 23 産水女**
かたわらに73体の放牛(父の霊を導くために107体の石仏を建立した傳)石仏がある。
- 24 四方池の池**
湧水が2坪程の小池をつくる共同の水場。38体の放牛石仏がある。
- 25 熊本城長瀬前の坪井川**
加藤清正が、蛇行する白川と坪井川を分離して現在の形にした。
- 26 八景水谷**
3代藩主細川綱利が八景を詠んだことに由来。市上水道発祥の地。
- 27 釣耕園**
細川綱利がつくった御茶屋が始まりで、米田松岡が「釣耕月雲」と詠んだのが由来。
- 28 養桂園**
再春館の師匠村井家の別荘。釣耕園の水を引いて曲水が流れる。
- 29 三賢堂**
政治家 安達謙蔵が精神修養の場として建立。菊池武時、加藤清正、細川重賢の坐像がある。
- 30 水前寺成趣園**
細川忠利がつくった御茶屋と水前寺が端緒。大名庭園に発展し、成趣園と命名。
- 31 成道寺**
熊本の山水庭園の代表格。漱石などの文人・画人からも愛された。
- 32 立田自然公園(泰勝寺跡)**
細川家の菩提寺跡。細川ガラシャを祀る「四つ御廟」や茶室「仰松軒」がある。
- 33 熊本城の井戸**
加藤清正が朝鮮出兵の苦い経験から、熊本城築城の際に掘った井戸。
- 34 夏目漱石内坪井旧居の井戸跡**
漱石の旧居が残っているのは熊本だけ。長女筆子の産湯に使ったという井戸跡。
- 35 川尻の船着場**
川尻は古くからの港町で、その船着場が現在の姿で残っている。
- 36 中無田開門**
加勢川と緑川を結ぶ開門。「天明ミニバナム運河」と呼ばれている。
- 37 江津塘**
清正堤と現われている堤防。これにより現在の江津湖が誕生した。
- 38 渡鹿用水**
加藤清正が築造したと伝えられる白川水系最大規模の水利施設。
- 39 石塘**
日本最古の分流工事の一つとされ清正が手がけた。
- 40 明八橋**
名工・橋本勘五郎が手がけた石造の眼鏡橋。明治8年に架けられた。
- 41 川尻の精霊流し**
たくさんの万灯笼と精霊船が流される、熊本の夏の風物詩。
- 42 川祭り**
子供の水難防止や水の恵みなどを願う地域の伝統的な風習。
- 43 恵比須まつり**
豊漁、豊作と航海安全を祈願し、港などに恵比寿像を祀る民間信仰。
- 44 水神信仰**
湧水地などに水神様を祀って、水の恵みや子供の水難防止を願う。
- 45 小堀流踏水術**
細川藩の武用水練として宝永年間に編み出された日本泳法。
- 46 味生池跡及び電伝説**
奈良時代に肥後の国司・道首首名(みちのみのおびと)がつくったとされる蓄池。
- 47 若水**
元旦早朝に汲んだ水を若水といい、一家の主人が汲みに行く。
- 48 中村汀女さんの水を詠んだ俳句**
江津湖で生まれ、江津湖を愛した俳人。ホトトギス同人。
- 49 堅山南風作「魚楽園」**
熊本生まれの日本画家。故郷の江津湖を描いたもので五幅対の作品。
- 50 水前寺のり及びセイジノリ発生地**
肥後藩が幕府へ献上していた高級品。上江津湖の発生地は天然記念物に指定。
- 51 水前寺もやし**
江津湖の湧水で栽培される、細くて長いもやし。熊本の正月雑煮には欠かせない。
- 52 水前寺せり**
水前寺、江津湖周辺の湧水で栽培される地元の七草の一つ。
- 53 赤酒**
もろみを絞る前に木灰を入れて保存性を高める。「お国酒」として細川藩が保護していた。
- 54 熊本清酒**
良質な地下水と野台全一(のじろ きんいち)の醸造技術により、高い品質を誇る。
- 55 神水**
上江津湖の北東に位置し、江津湖の清冽な湧水を象徴する地名である。
- 56 水道町**
江戸時代に消火用の水道が通っていたことに由来する。
- 57 椋垣**
水とかかわりの深い物語を持つ、熊本ゆかりの平安時代の女流歌人。
- 58 加藤清正**
土木の神様、治水の神様と称される、熊本の基礎を築いた武将「セイシヨコさん」の愛称。
- 59 成道寺川流域の水域生態系**
希少野生動物植物が数多く生息し、稀有な水域生態系を有する。
- 60 緑川河口のヨシ原**
広大なヨシ原は、動物の棲み処となり、水質浄化の役割も果たす。

この地図の作製に当たっては、国土理院院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平 22 業使、第 183 号)